



# 2011年3月期 決算説明会



マツダ株式会社  
2011年4月28日

マツダ 勢(MINAGI)

# 本日の説明内容

---

- 総括
- 2011年3月期実績
- まとめ
- 質疑応答
- 今後の取り組み





# 総括

# 2011年3月期ハイライト(1)

---

- ▶ 売上高は前年を上回る2兆3,257億円、営業利益は前年比2.5倍の238億円、経常利益は同8倍の369億円と増収増益を達成
- ▶ 震災影響がありながら、営業利益は、ほぼ2月公表レベル、経常利益は公表を上回る利益を達成
- ▶ 特別損失として、北米事業の事業損失引当85億円 及び震災影響52億円を計上
- ▶ 繰延税金資産の一部取り崩し影響などにより、当期純損失は600億円
- ▶ フリーキャッシュフローは、16億円の黒字
- ▶ 2011年3月期の期末配当は見送る予定

## 2011年3月期ハイライト(2) - 販売総括

---

- ▶ グローバル販売台数は、主要地域での販売好調により、対前年8万台、7%増加の127万3千台
- ▶ 新型プレマシー/Mazda5は、成功裏にグローバル導入
- ▶ CX-7、CX-9は北米などでの販売好調により、過去最高の販売台数を達成
- ▶ オーストラリア、タイ、メキシコでは過去最高となる販売台数及びシェアを獲得
- ▶ 中国、タイ、メキシコ、インドネシア、マレーシア、チリで過去最高の販売台数を達成するなど、新興国での販売も順調

ZOOM-ZOOM

# 2012年3月期ハイライト

---

- ▶ **本格安定生産に向け、お取引先様と一体となった活動を総力を挙げて実行中**
- ▶ **競合力ある商品と、我々の財産である販売網・顧客基盤により販売モメンタムを継続**
- ▶ **急激な円高対応、新興国対応などの課題解決に向けての活動に着手済み**
- ▶ **SKYACTIV元年として、国内向けデミオを始め、SKYACTIV TECHNOLOGYを搭載した商品を導入**
- ▶ **2012年3月期見通し及びグローバル販売台数など詳細は、後日公表**

ZOOM-ZOOM

# 震災影響及び現時点の生産体制

---

## ▶ 2011年3月期の震災影響

	震災影響	実績
・国内生産台数(千台)	46	867

## ▶ 現時点の生産体制

- ・4月4日より本社及び防府の2工場で生産再開。  
4月13日よりいずれも連続操業(稼働率は、5～7割)
- ・海外生産工場(AAI、AAT、CFMA、CFME)はいずれも定時操業を維持



# 2011年3月期実績



# 2011年3月期 財務指標

(億円)	通期		増/(減)		(参考)
	2011年3月期	2010年3月期	金額	YOY(%)	2011年3月期 2月公表
	売上高	23,257	21,639	1,618	7
営業利益	238	95	143	152	250
経常利益	369	46	323	694	360
税引前利益	161	(73)	234	-	270
当期純利益	(600)	(65)	(535)	-	60
売上高営業利益率	1.0 %	0.4 %	0.6 Pts	-	1.1 %

# キャッシュフロー及び純有利子負債

(億円)	通期		
	2011年3月期	2010年3月期	増/(減)
フリーキャッシュフロー	16	674	-
現金及び現金同等物	3,228	3,463	(235)
純有利子負債	3,702	3,758	(56)
純有利子負債 自己資本比率	86 %	74 %	12 Pts
自己資本比率	24 %	26 %	(2) Pts

# 主要データ

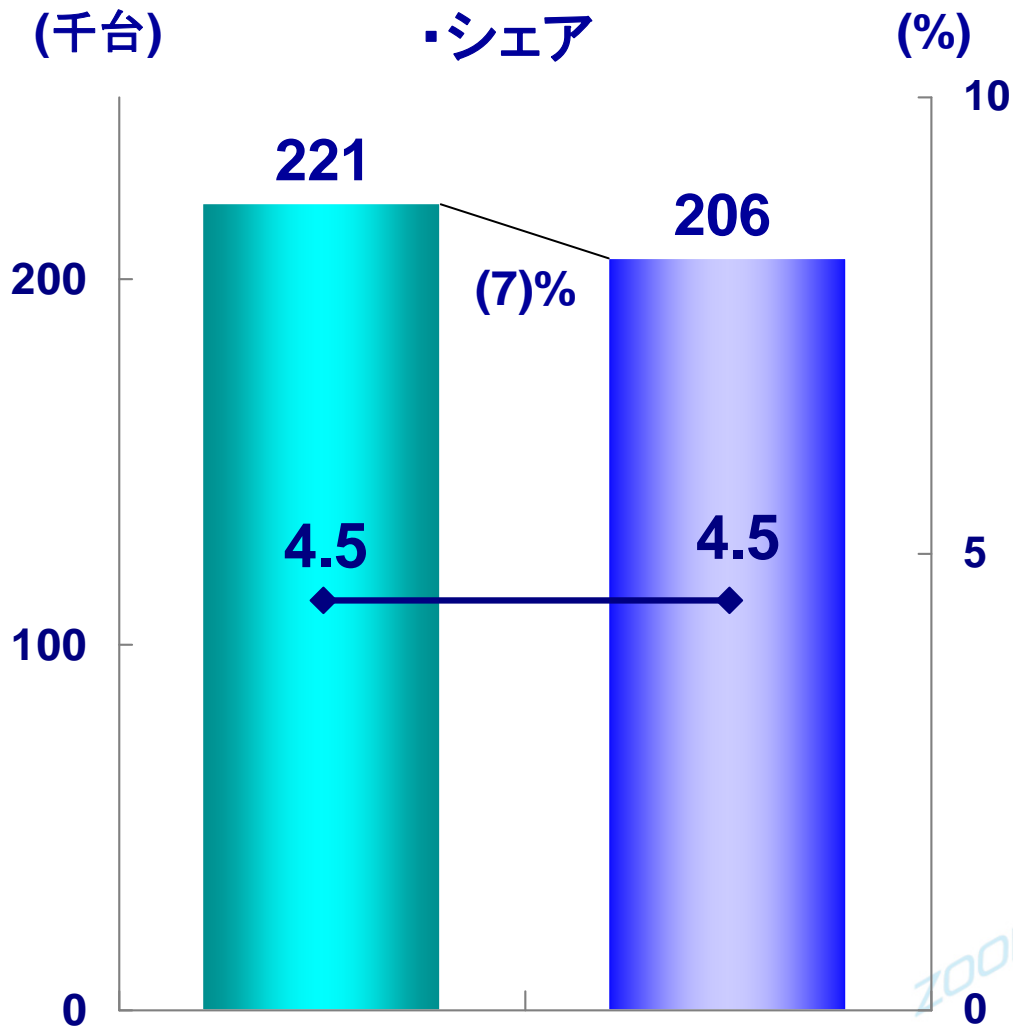
	通期		増/(減)		(参考)
	2011年3月期	2010年3月期	台数	YOY(%)	2011年3月期 2月公表
<b>グローバル販売台数 (千台)</b>					
日本	206	221	(15)	(7)	215
北米	342	307	35	12	358
内 米国	238	210	28	13	246
欧州	212	239	(27)	(12)	218
中国	236	196	40	20	252
その他市場	277	230	47	20	277
合計	<u>1,273</u>	<u>1,193</u>	<u>80</u>	<u>7</u>	<u>1,320</u>
<b>連結出荷台数 (千台)</b>					
日本	206	219	(13)	(6)	216
北米	367	304	63	21	383
内 米国	257	210	47	22	265
欧州	208	227	(19)	(9)	202
中国	20	15	5	30	22
その他市場	299*	198	101	51	279
合計	<u>1,100</u>	<u>963</u>	<u>137</u>	<u>14</u>	<u>1,102</u>
<b>為替レート</b>					
US\$ / 円	86	93	(7)		85
€/ 円	113	131	(18)		114

\* 2011年3月期の連結出荷台数は、決算期を変更した海外子会社の15ヶ月決算の影響 1万6千台を含む。

# 日本

## 通期 販売台数

・シェア



新型プレマシー

- ▶ 新型プレマシー及びデミオの好調により、シェアは前年と同レベルの4.5%を維持
- ▶ 新型プレマシーは、目標を上回る平均月間販売台数を達成
- ▶ 販売台数は下期の需要減や震災影響により、20万6千台

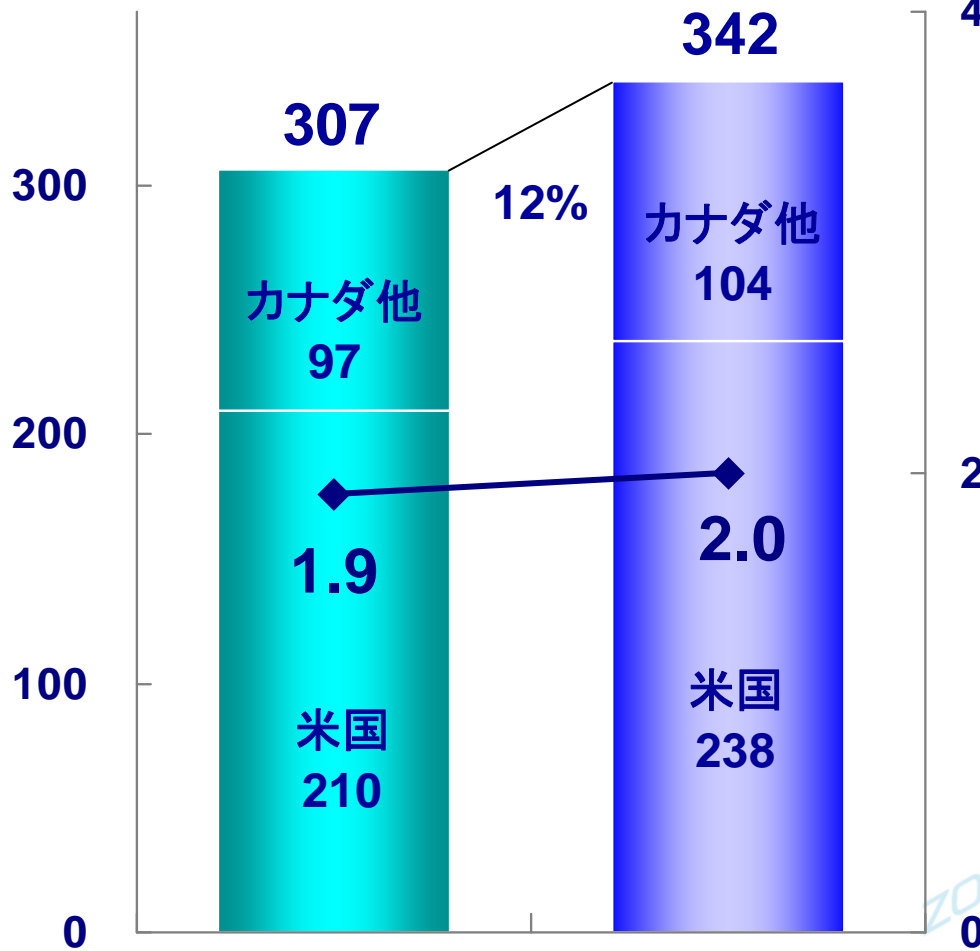
2010年3月期 2011年3月期

# 北米

## 通期 販売台数 ・米国シェア

(千台)

(%)



Mazda3

- ▶ 当期導入したMazda2の上乗せに加え、CX-7、CX-9の好調により対前年12%増の34万2千台を達成
- ▶ 米国では、前年を13%上回る販売と0.1ポイントのシェアアップを達成
- ▶ CX-9は米国ALG社\*の2011年セグメント最高残存価値賞を受賞
- ▶ メキシコでは、過去最高となる販売台数及びシェアを獲得

2010年3月期 2011年3月期

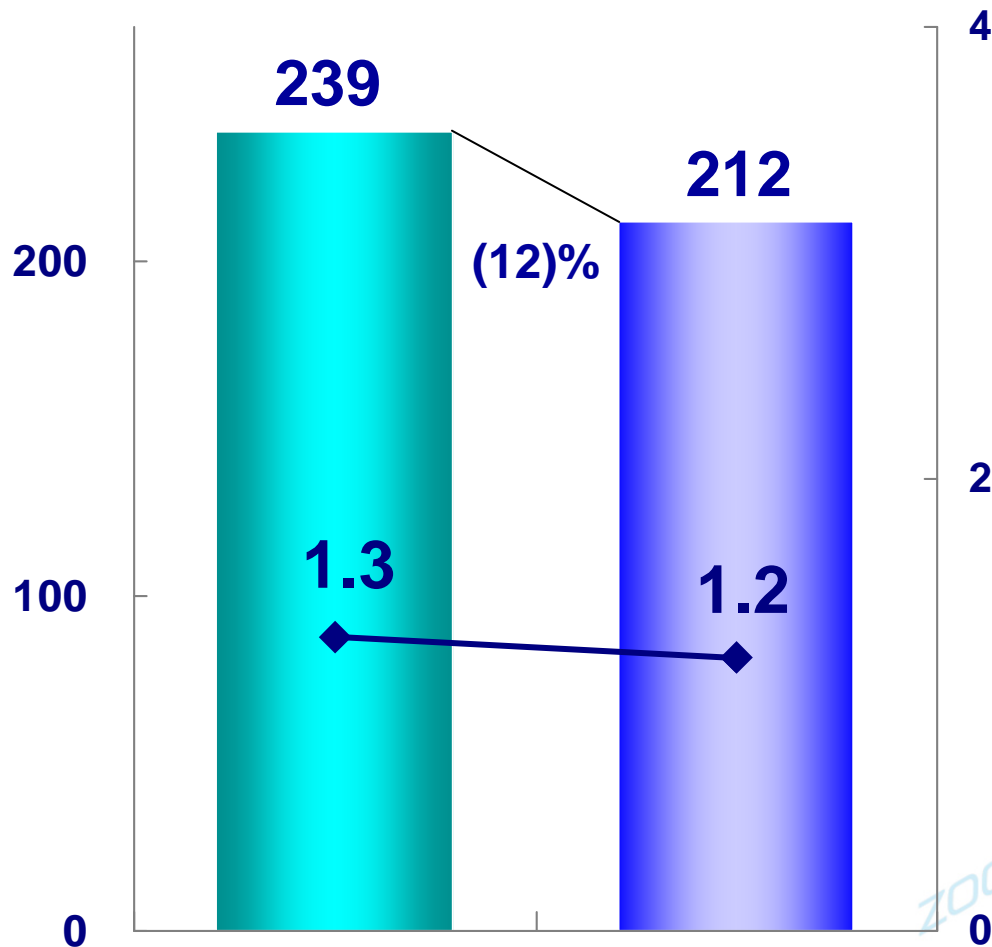
# 欧州

## 通期 販売台数

・シェア

(千台)

(%)



2010年3月期 2011年3月期



Mazda CX-7

- 販売台数は総需要減の影響により21万2千台
- 新型Mazda5 は1月よりディーゼルエンジン車を導入し、ドイツなどで前年を上回る販売台数及びセグメントシェアを獲得
- ドイツはMazda5、CX-7の好調や、ディーラーネットワークの改善活動により、前年を0.2ポイント上回る1.5%のシェアを獲得
- ロシアは需要回復に加え商品力強化により、前年を29%上回る販売を達成

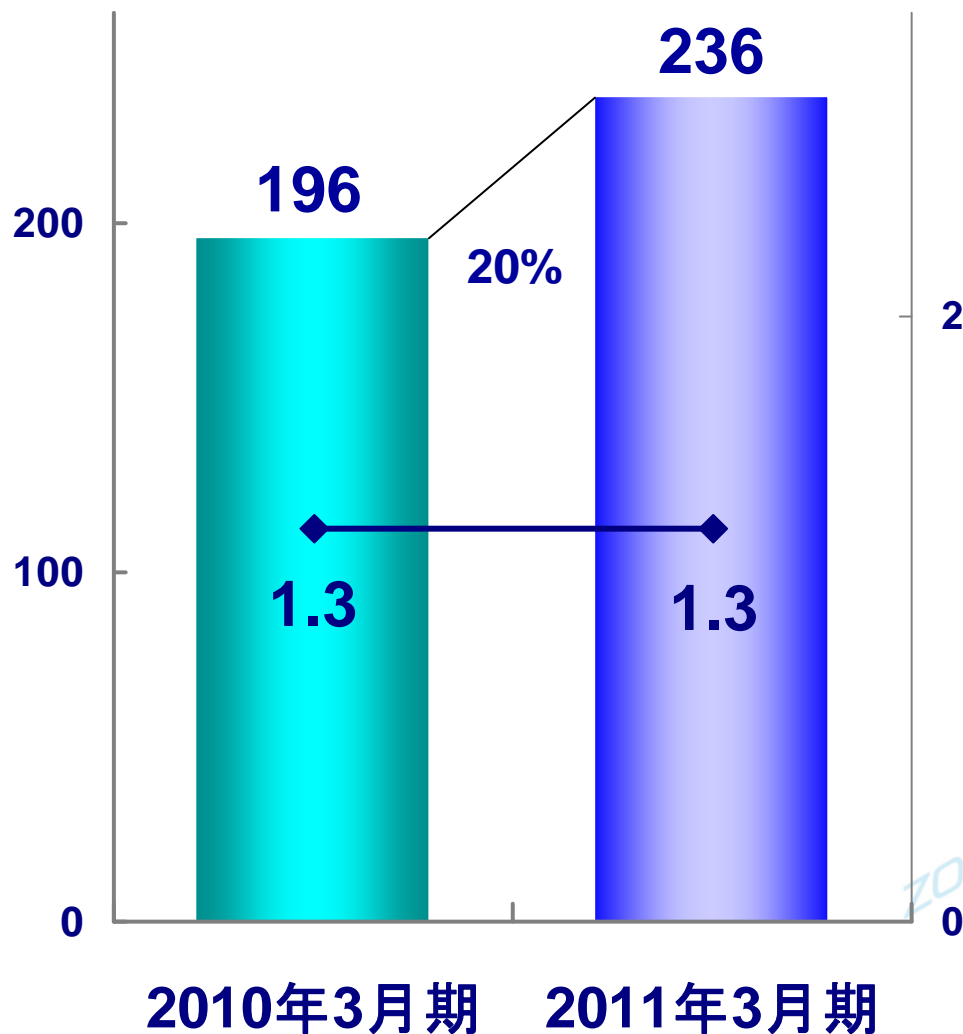
# 中国

## 通期 販売台数

・シェア

(千台)

(%)

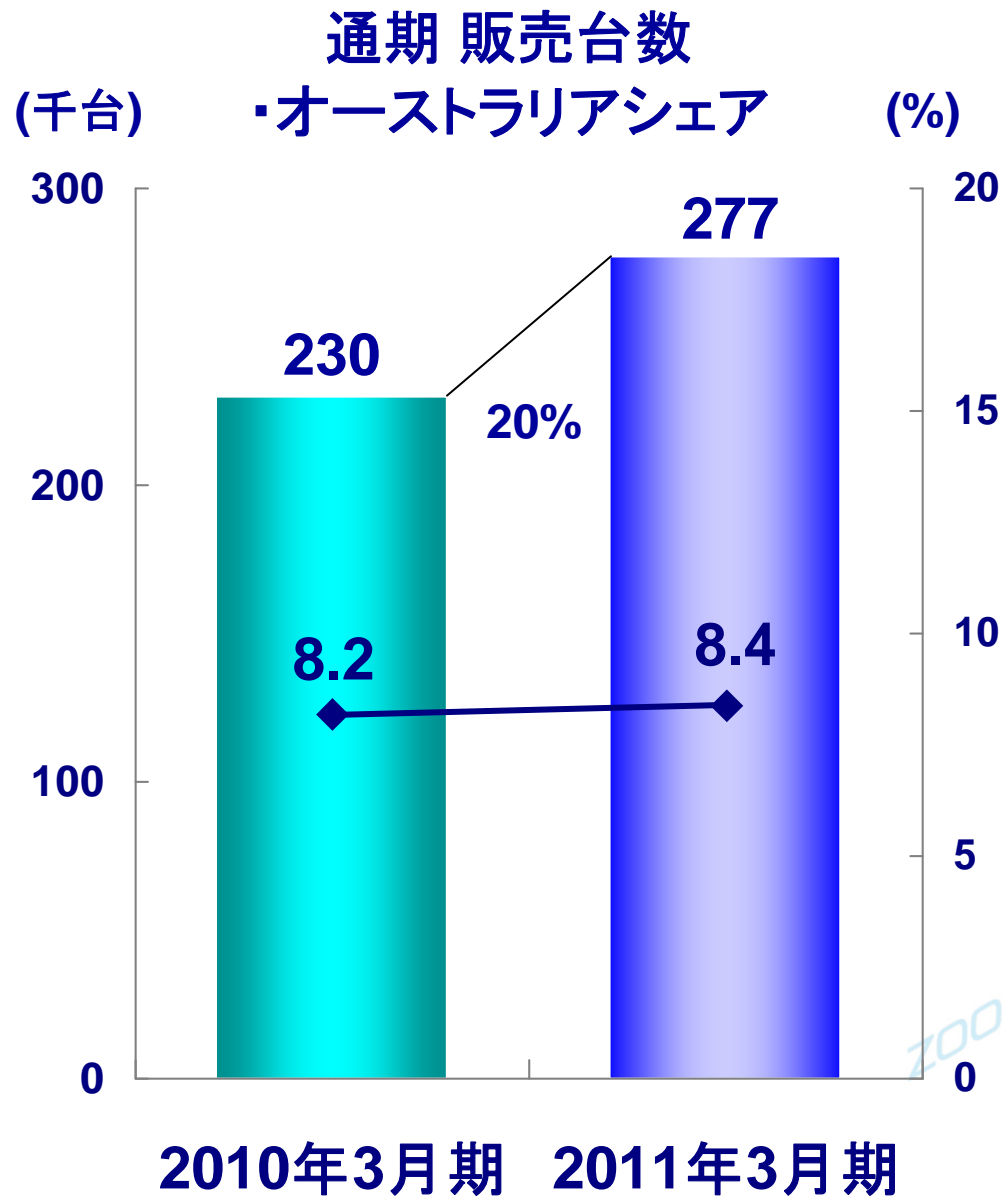


Mazda6

- Mazda3、Mazda6など主力車種の好調により、対前年20%増加、過去最高の23万6千台を達成
- シェアは前年と同レベルの1.3%を維持
- 販売網の強化も順調に進捗。店舗数は312店と前期末に対し48店増加



# その他市場



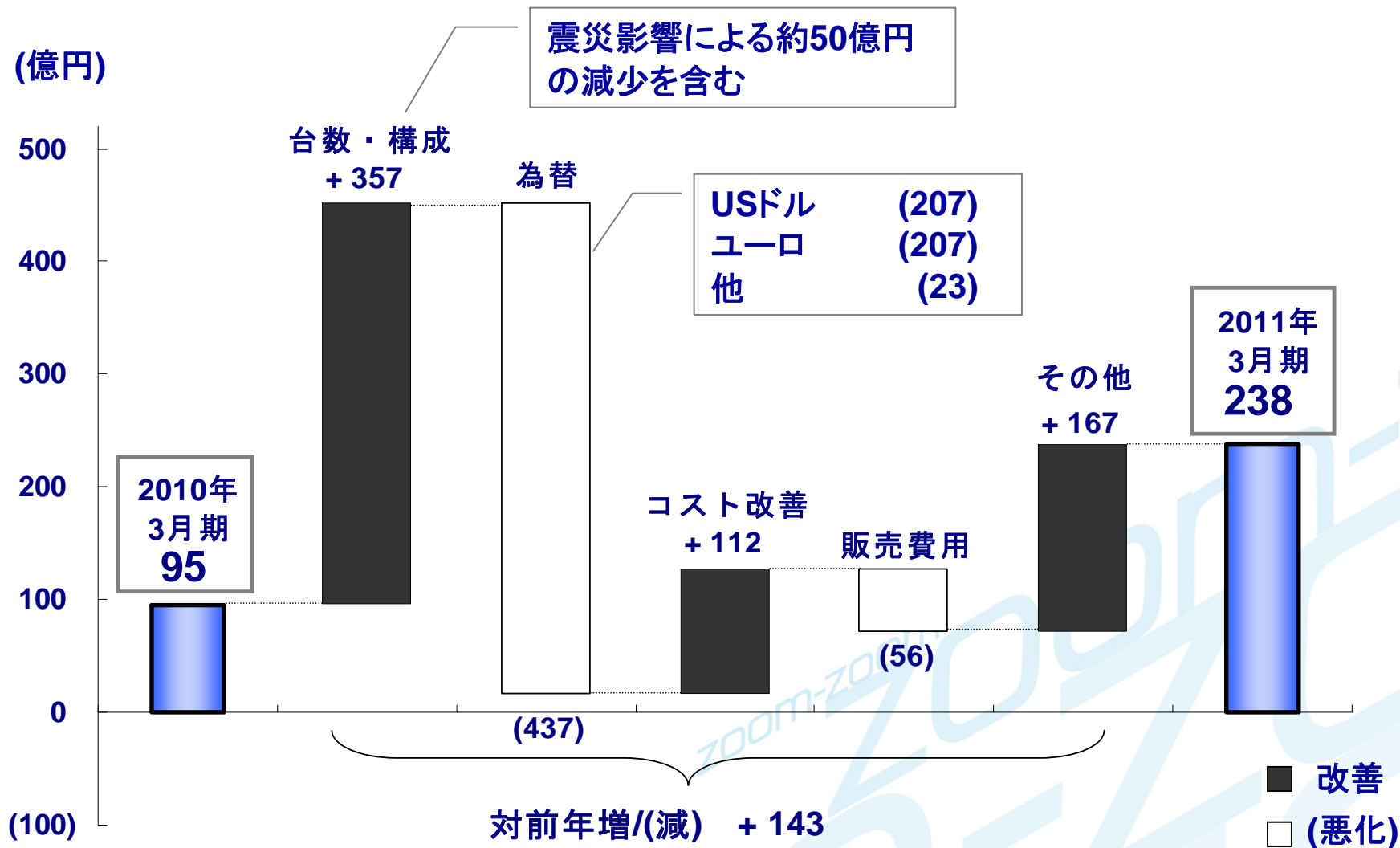
Mazda2 AAT生産車両

- その他市場全体で20%増の27万7千台を達成
- オーストラリア、タイでは過去最高の販売台数及びシェアを獲得
- インドネシア、マレーシア、チリでは過去最高の販売台数を達成
- AAT生産のMazda2がアセアン諸国などでの販売増に大きく貢献



# 営業利益変動

## 2011年3月期 通期 対前年比較



# 営業外損益、特別損益等内訳

(億円)	2011年3月期		(参考)	
	実績		2011年3月期	2月公表
営業利益	238	主な内訳 為替差益 92 持分利益 142 金利収支 (100)	250	
営業外損益	131		110	
経常利益	369	主な内訳 北米事業の事業損失引当 (85) 災害損失 (52)	360	
特別損益	(208)		(90)	
税引前利益	161	主な内訳 繰延税金資産一部取崩 (567) その他 (194)	270	
法人税等	(761)		(210)	
当期純利益	(600)		60	

# まとめ(1)

---

## <2011年3月期>

- ▶ 震災影響がありながら、経常利益以上は増収増益を達成
- ▶ 震災影響を除けば、営業利益は約280億円
- ▶ 販売面、コスト改善など、事業のパフォーマンスは順調
- ▶ CX-7、CX-9が過去最高の販売を達成するなど、主力車種の販売好調による成長を継続。また、オーストラリア 及び中国、タイ、メキシコなど新興国で過去最高の販売台数を達成

ZOOM-ZOOM

## まとめ(2)

---

### <2012年3月期>

#### ▶ 現時点の生産体制

- ・4月4日より本社及び防府の2工場で生産再開。  
4月13日よりいずれも連続操業(稼働率は5~7割)

#### ▶ 本格安定生産に向け、お取引先様と一体となった活動を総力を挙げて実行中

#### ▶ SKYACTIV元年として、SKYACTIV TECHNOLOGYを導入

#### ▶ 2012年3月期見通し及びグローバル販売台数など詳細は、後日公表

# 今後の取り組み

---

## <生産対応>

- ▶ 調達状況を確認しながら、稼働率向上に向け対応策を実行
- ▶ 仕向地及び車種ミックスの改善

## <将来に向けて>

- ▶ 次世代商品群・SKYACTIV TECHNOLOGYの確実な開発・生産及び市場導入成功に注力
- ▶ 「モノ造り革新」による機能・品質・コストの同時造り込み
- ▶ 「つながり革新」によるブランド価値向上・販売力強化
- ▶ 円高対応
  - ・国内拠点のコスト競争力の回復
  - ・為替変動への柔軟性の確保
- ▶ 新興市場向け海外生産の強化・拡大
- ▶ 成長へのコミットメントに変更なし



**mazda**





添付

# 2011年3月期 財務指標

(億円)	第4四半期		増/(減)	
	2011年3月期	2010年3月期	金額	YOY(%)
売上高	6,078	6,160	(82)	(1)
営業利益	106	205	(99)	(48)
經常利益	138	235	(97)	(41)
税引前利益	(26)	141	(167)	-
当期純利益	(628)	99	(727)	-
売上高営業利益率	1.7 %	3.3 %	(1.6) pts	-



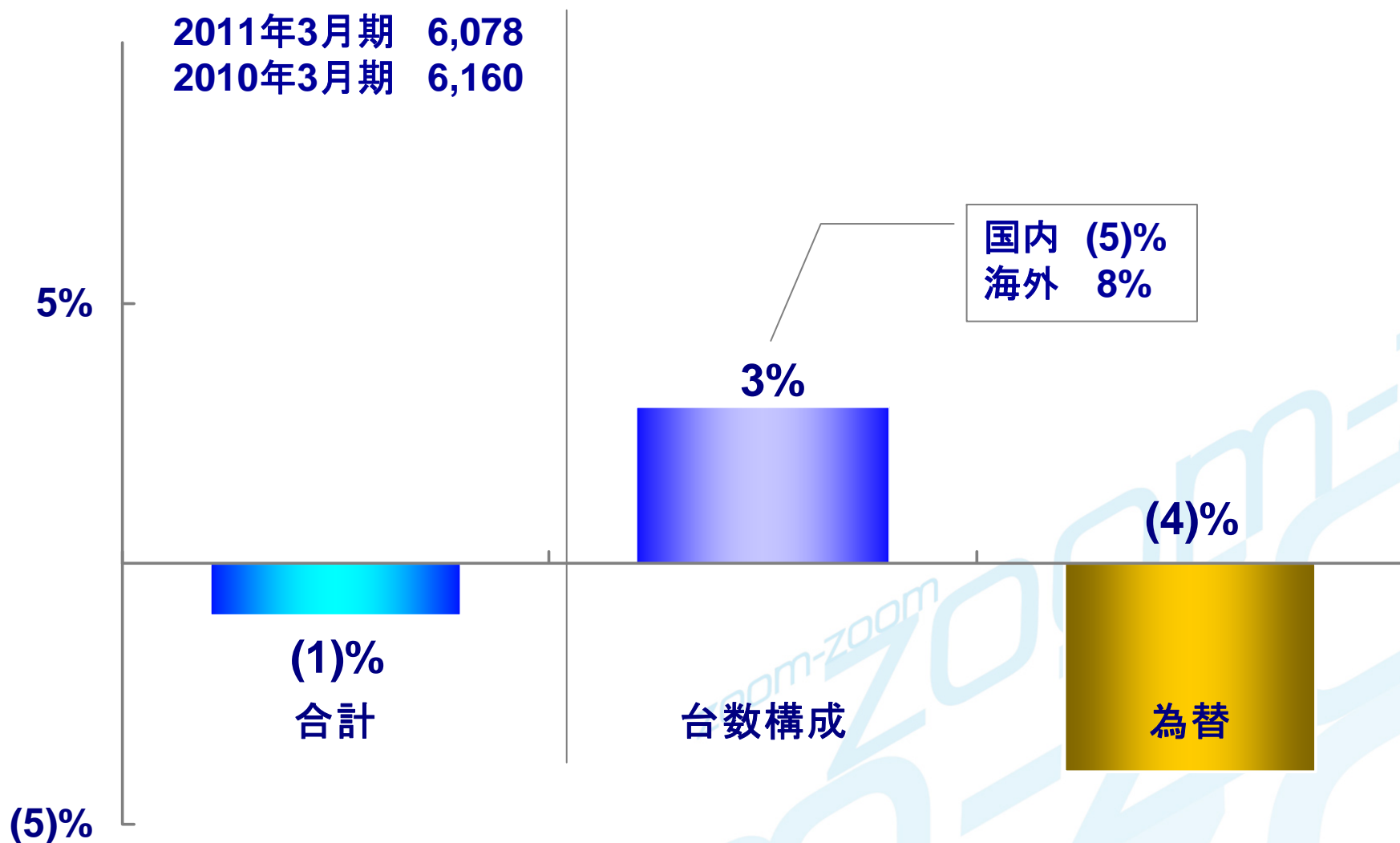
# 売上高変動内訳

## 2011年3月期 第4四半期 対前年比較

(億円)

2011年3月期 6,078

2010年3月期 6,160



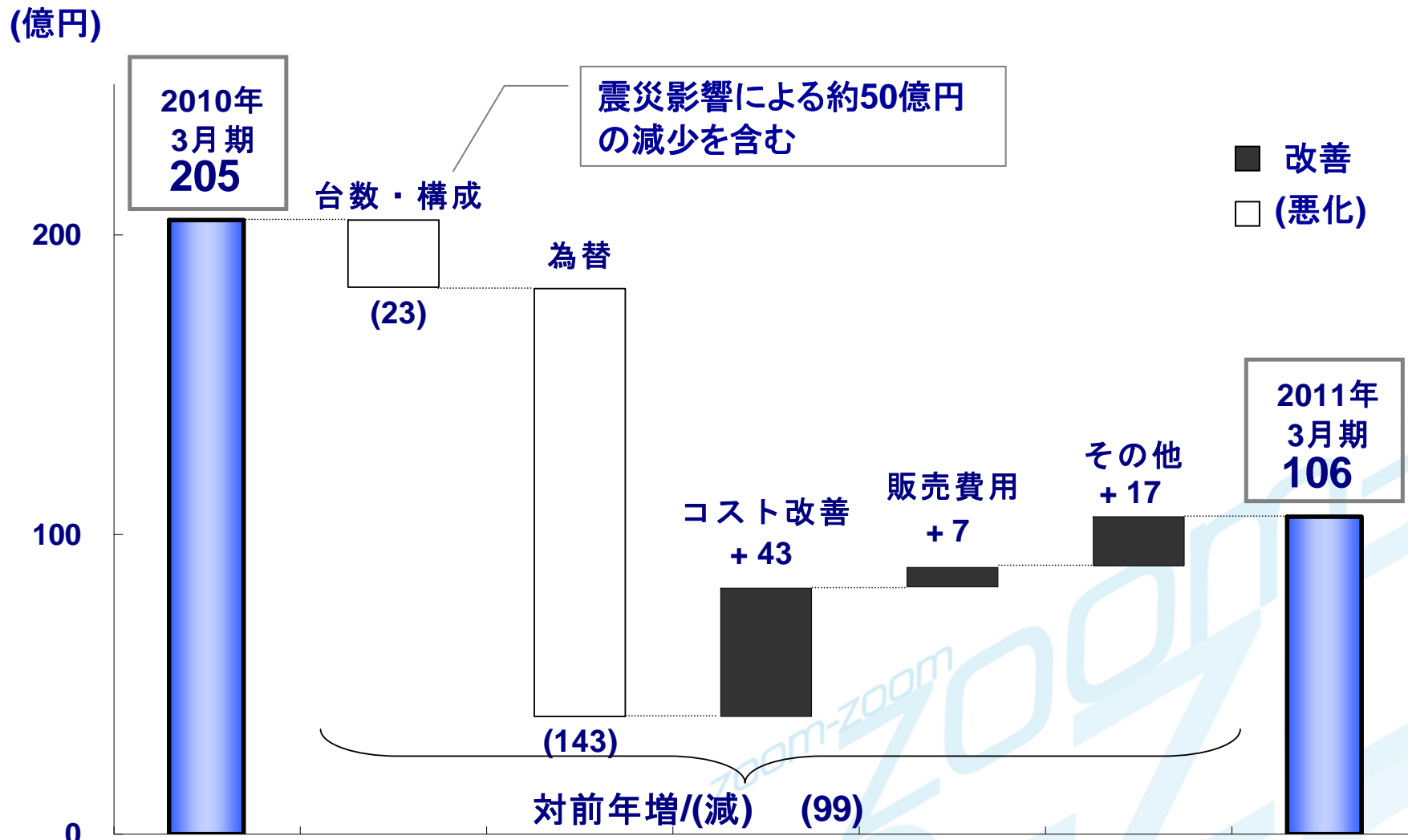
# 主要データ

	第4四半期		
	2011年3月期	2010年3月期	増/(減)
<b>グローバル販売台数 (千台)</b>			
日本	53	71	(18)
北米	85	79	6
欧州	57	63	(6)
中国	50	54	(4)
その他市場	71	62	9
合計	<u>316</u>	<u>329</u>	<u>(13)</u>
<b>連結出荷台数 (千台)</b>			
日本	51	69	(18)
北米	89	91	(2)
欧州	62	64	(2)
中国	4	7	(3)
その他市場	84 *	58	26
合計	<u>290</u>	<u>289</u>	<u>1</u>
<b>為替レート</b>			
US\$ / 円	82	91	(9)
€/ 円	113	126	(13)

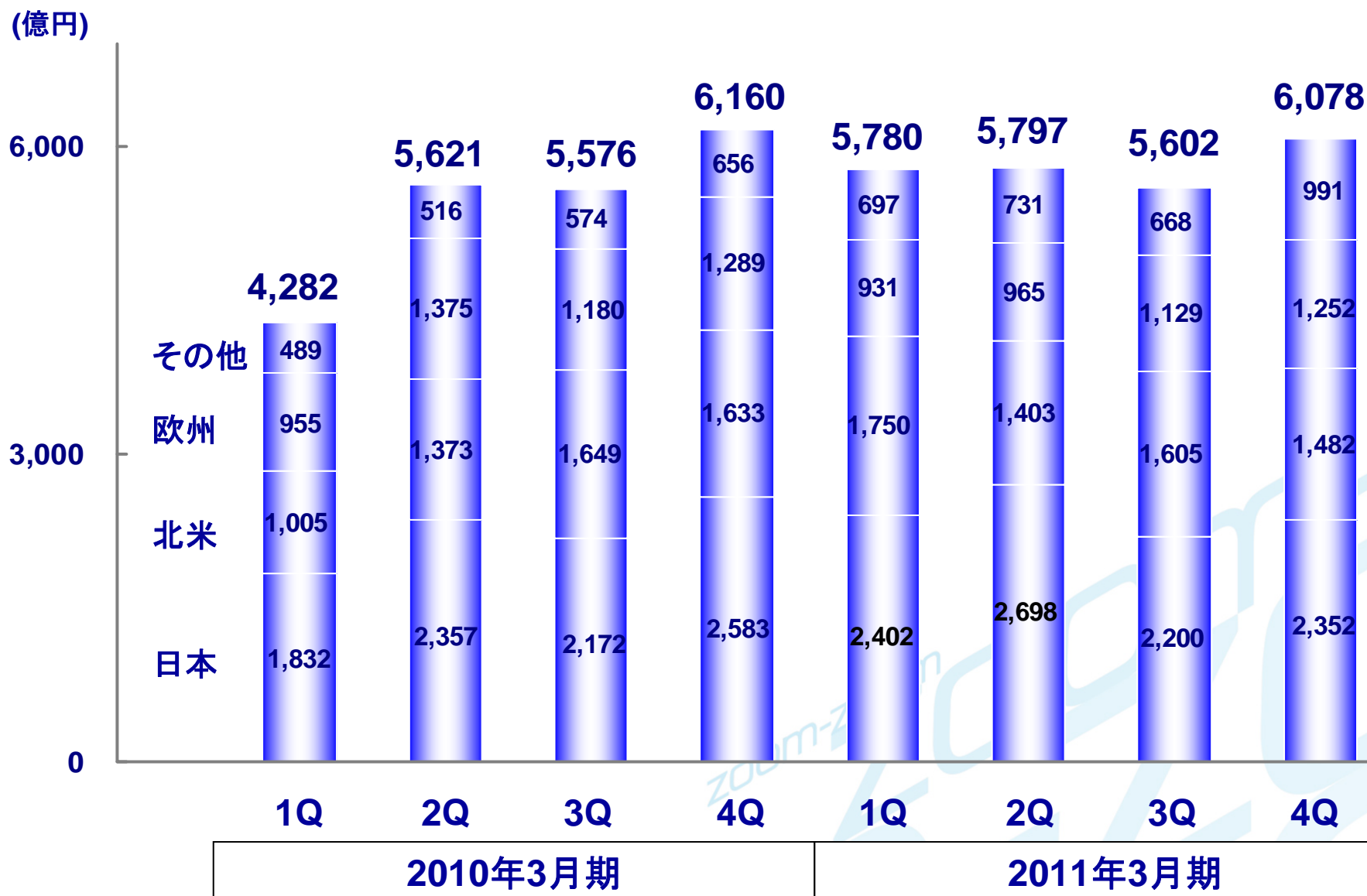
\* 2011年3月期の連結出荷台数は、決算期を変更した海外子会社の15ヶ月決算の影響 1万6千台を含む。

# 営業利益変動

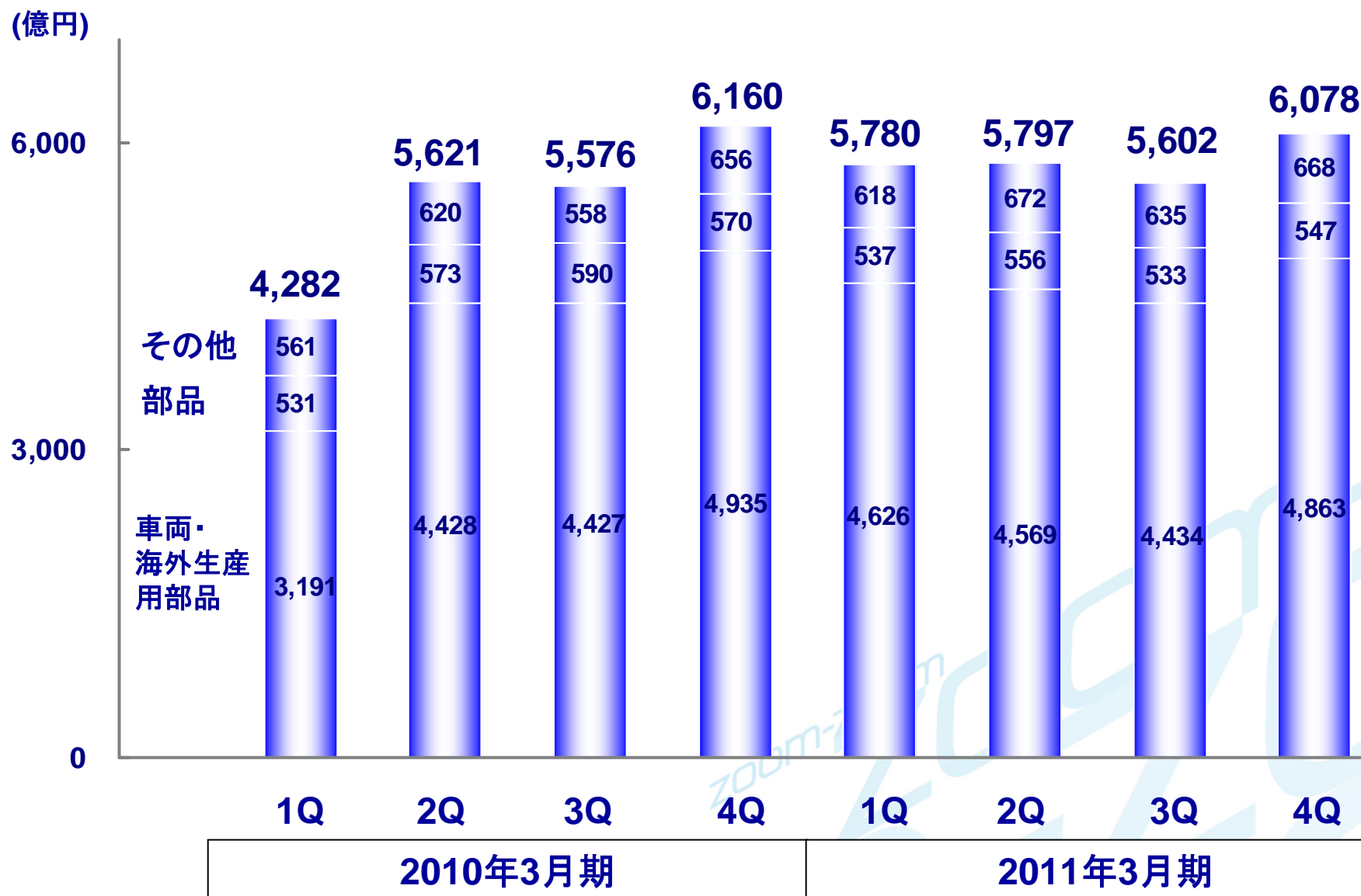
## 2011年3月期 第4四半期 対前年比較



# 売上高 所在地別



# 売上高 製品別

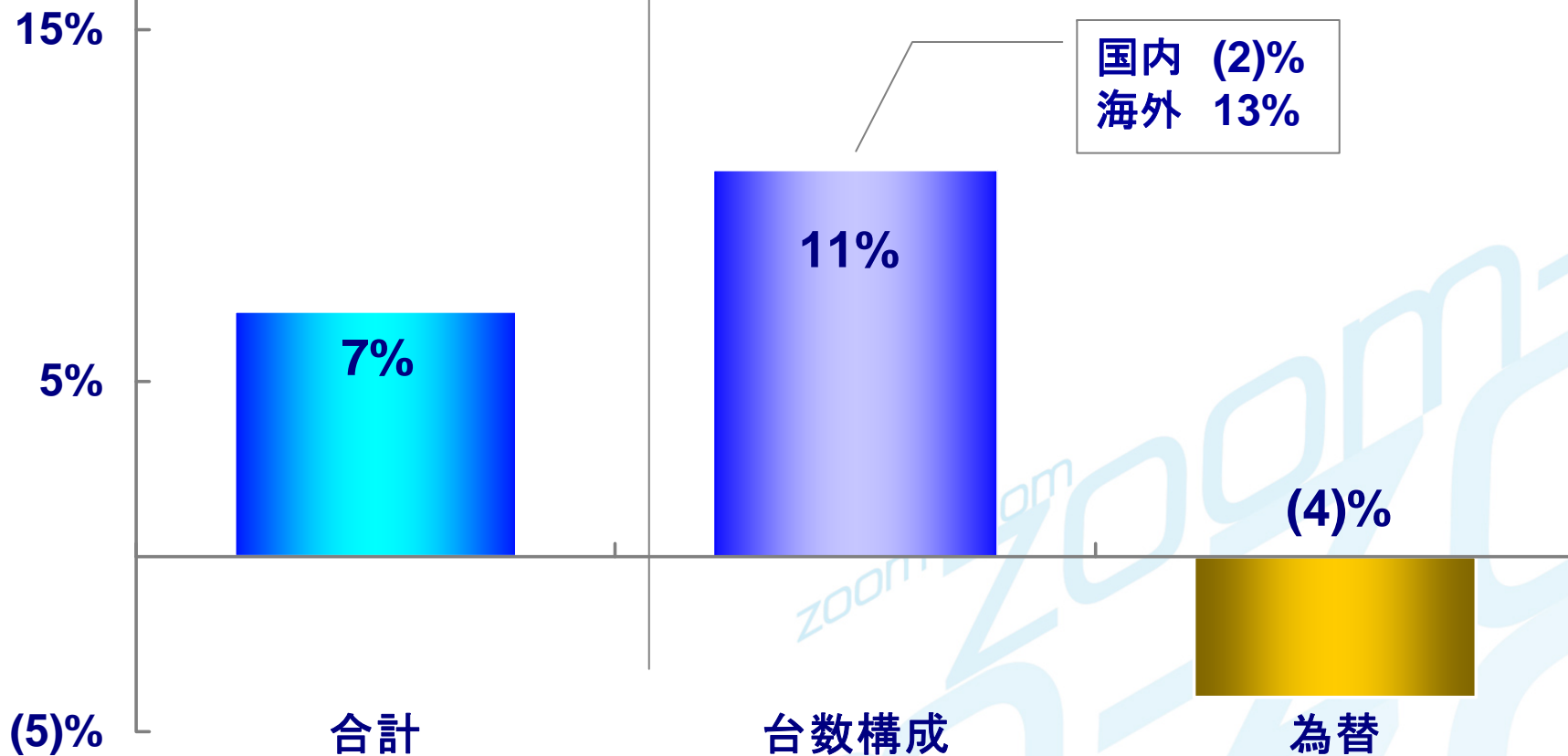


# 売上高変動内訳

## 2011年3月期 通期 対前年比較

(億円)

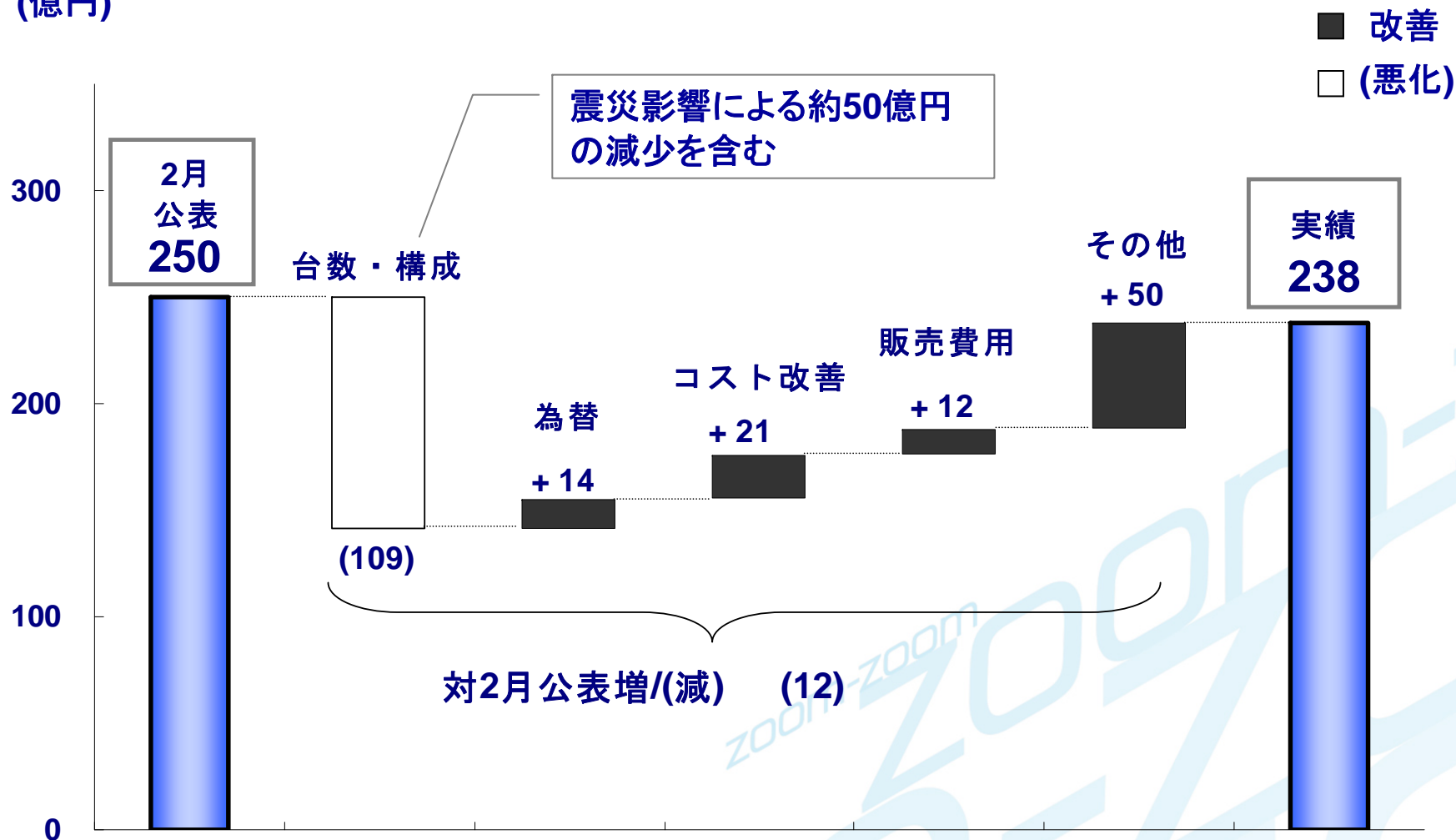
2011年3月期 23,257  
2010年3月期 21,639



# 営業利益変動

## 2011年3月期 通期 対2月公表比較

(億円)



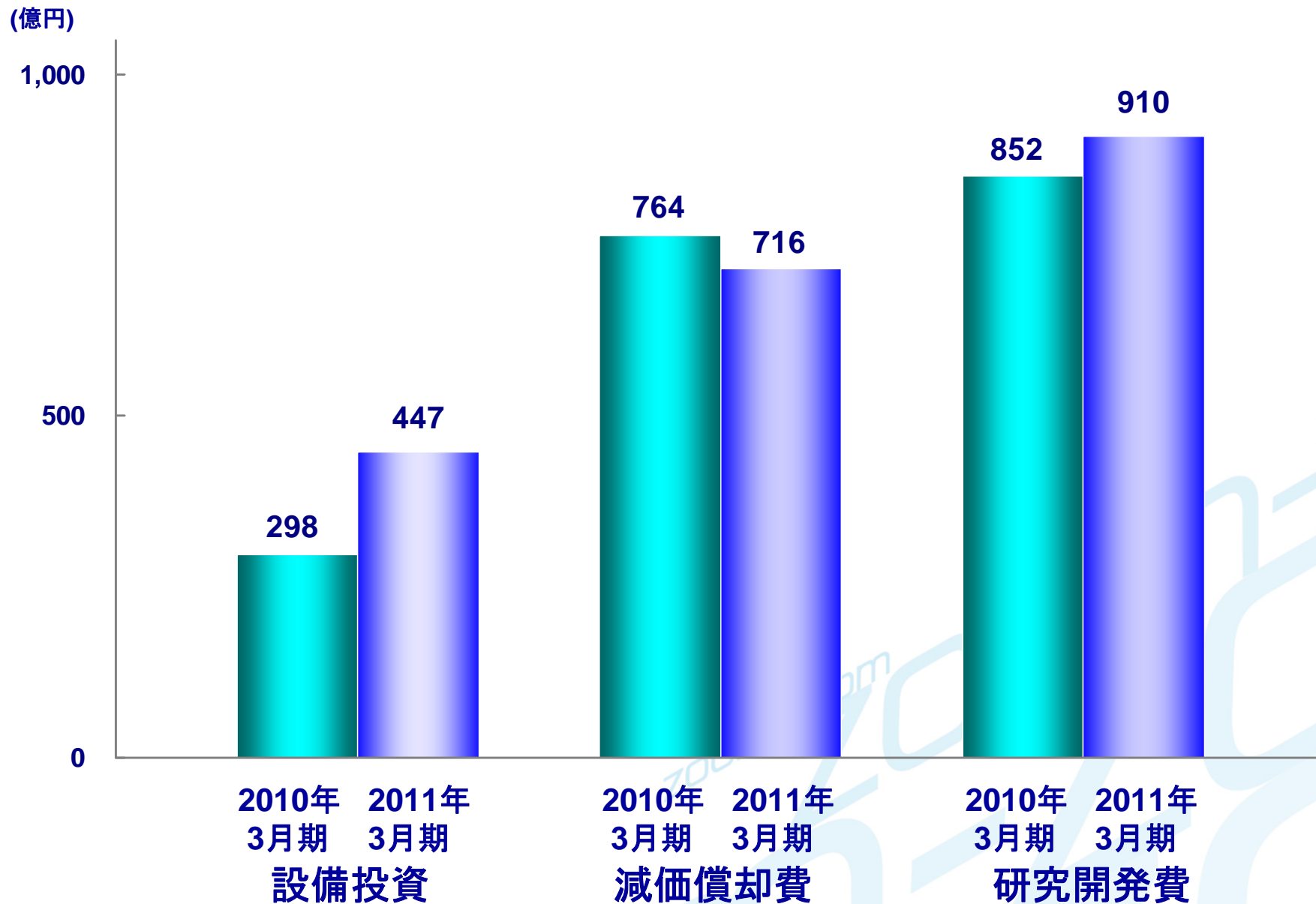
# 主要データ

	2011年3月期			対前年 増/(減)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
<b>グローバル販売台数 (千台)</b>						
日本	125	81	206	20	(35)	(15)
北米	177	165	342	19	16	35
欧州	108	104	212	(15)	(12)	(27)
中国	112	124	236	27	13	40
その他市場	137	140	277	31	16	47
合計	659	614	1,273	82	(2)	80
<b>連結出荷台数 (千台)</b>						
日本	125	81	206	20	(33)	(13)
北米	181	186	367	55	8	63
欧州	90	118	208	(19)	0	(19)
中国	12	8	20	7	(2)	5
その他市場	142	157	299*	56	45	101
合計	550	550	1,100	119	18	137
<b>為替レート</b>						
US\$ / 円	89	82	86	(7)	(8)	(7)
€ / 円	114	112	113	(19)	(17)	(18)

\* 2011年3月期の連結出荷台数は、決算期を変更した海外子会社の15ヶ月決算の影響 1万6千台を含む。



# 主要データ



## 将来見通しに関する注意事項

---

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。